

2006年12月1日

## 12月1日決算説明会 質疑応答 (要約)

**Q1. 自動車の正味支払保険金について、車両・対物は減少しており対人の支払が増加している。これは特段何か大きな変化によるものか。**

- ▶ 車両・対物の支払いが減少する一方で対人の支払が増加しているのは、対人で大口の保険金支払がやや増加しているためである。なお、現時点ではこの影響が今後も続くとは判断していない。

**Q2. キャピタルゲインの想定値が180億から420億に変更された理由は何か。**

- ▶ 保有株式の価格変動リスク圧縮が重要と考え、年度初の計画よりも早いペースで売却を行っていることを反映させたものである。
- ▶ ソルベンシーマージン比率の計算上、株式のリスクを現在よりも高くカウントするような改正となる可能性があり、それを見据えて、早めの対応を図っている。

**Q3. 金融機関チャネルというのは、日本興亜の非常に強いチャネルであるが、来年の金融窓販全面解禁に向け、どのような対策を採っていくのか。**

- ▶ 銀行窓販の全面解禁は、日本興亜グループ全体にとって非常に大きなイベントでありチャンスである。  
特に自動車保険に関しては、グループ内に日本興亜損保の商品とそんぼ24の商品という2つの商品を持っており、これを各銀行の事情や考え方に応じて選択して頂けるといことが、非常に強いと考えている。

以上